

平成25年

僕たちのスカウト活動

平成25年4月21日

002



なぜがいっぱい 鬼ノ城の散策

鬼ノ城は、「異国の鬼神が吉備国にやって来た。彼は百済の王子で名を温羅(うら)という。彼はやがて備中国の新山(にいやま)に居城を構え、しばしば西国から都へ送る物資を奪ったり、婦女子を掠奪したので、人々は恐れおののいて「鬼ノ城」と呼び、都へ行ってその暴状を訴えた・・・」。これが、一般に温羅伝承と呼ばれる説話で、地名もこれに由来している。

日にち 平成25年 4月29日(月曜日)
時間 9時 出発
場所 23団 団本部 (現地直行も可能です)
持ち物 ・スカウト弁当 ・お茶 ・活動帽 ・敷物など
・その他必要と思うもの

※ 集会への出欠をご連絡下さい

これからの予定

平成25年は『一歩前へ』

5月12日(日) 野外料理(里山センターで水餃子作り)
5月19日(日) 焼き物に挑戦(津高公民館)・・・ 美育
6月 9日(日) 無農薬玉ねぎの収穫体験・・・ 食育
6月23日(日) カヌー体験 in 総社
7月14～15日 団キャンプ in 吉備青年の家

もうたくさん楽しい集会在君たちを待っています。

○焼き物体験は人数に限りがありますが、保護者の方も体験出来ます。

(参加費1,000円必要)

○玉ねぎの収穫体験は「無農薬」で「化成肥料」も使っていません。

安心して食べることができる美味しい玉ねぎです。

ウッドクラフトとは？

「ひとたび、少年の心にウッドクラフトという苗が入りこむと、観察と推理の力は無意識のうちに発達し、少年の性格の一部となる。それは少年が将来どんな仕事に就こうとも残るものである」

(バーデン-パウエル『B-Pの展望』より)

バーデン-パウエルは、『スカウティングフォアボーイズ』で、忍び寄りとともに野生生物の観察をウッドクラフトとして取り上げています。

しかし、ウッドクラフトとは、野生の動物や植物を観察して、その知識を得ることだけではありません。動物文学者のシートンは、1911年、アメリカ連盟の最初のハンドブックでウッドクラフトの章を担当し、腕時計を使った方位発見から始めています。また、キャンプそのものに関する技能はキャンプクラフトとし、ウッドクラフトと別にする考えもあります。

しかし、森の中で生活し、大自然に接して楽しむことにおいてはどちらのクラフトも同じであり、ウッドクラフトとは、的確な訳語がなかなかないのですが、森で生活し、活動するときに役立つ、知識、技術、心構え全般で、ひいては市民性や信仰心を育てるものと考えておけばよいのではないのでしょうか。

— スカウティング誌 3月号より —

ウッドクラフトとは何かをを考えると、まさに私たちが目標としている『大自然に習う』この一言に尽きるのではないのでしょうか。

もったいない寄付にご協力をお願いします

ご家庭にある・書き損じの年賀、官製はがき ・未使用、使用済み切手 ・ブルーチップ ・未使用、使用途中のテレフォン、プリペイドカードなどがあれば 鬼ノ城散策の時にお待ち下さい。(集まりが悪いのでよろしくをお願いします)